

富医ニュース

No.597 令和3年6月1日

一般社団法人 富田林医師会

会長 宮田 重樹

〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38

TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858

E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

令和3年 定例総会開催(書面にて)

令和3年富田林医師会定例総会が5月26日に医師会研修室にて書面で開催されました。今総会は新型コロナウイルス感染蔓延による緊急事態宣言での自粛要請にて藤岡洋副会長、児嶋晃副会長出席のもと委任状提出139名で成立。

令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画案、令和2年度歳入歳出決算及び令和3年度歳入歳出予算案が報告され委任状にて承認されました。

令和3年5月定例理事会

日 時	令和3年5月21日(金)	20:30より
場 所	医師会 大会議室	

報告事項

- 1) 後期高齢者医療健康診査の対象者基準の見直しについて
- 2) 日本医師会会員証の廃止について
- 3) 産業廃棄物管理票の提出について
- 4) 南河内南部広域小児急病診療実務者連絡会→児嶋副会長出席
- 5) 令和3年度大阪府医師会産業医部会→藤岡副会長出席
- 6) 富田林市情報公開・個人情報保護運営審議会委員の推薦について→堀野監事

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 総会に関して
令和2年度事業報告・令和3年度事業計画
令和2年度決算・令和3年度予算承認について

新型コロナウイルスワクチン集団接種 ご協力のお願い

4月13日より富田林医師会管内の特別養護老人ホームでの巡回接種、5月13日よりPL教団錬成会館での集団接種が4市町村主管、医師会協力のもとに開始となりました。会員先生方の多大なるご協力のもとハイペースで現在進行中であり、既に10,000人弱の接種が完了いたしております。(R3.5月28日現在)

7月末までに高齢者の集団接種を終了するためにはさらなるスピードアップが必要であり、すべての科のすべての先生方のご協力が不可欠です。まだまだ人員が不足している状態であり、一人でも多くの先生方のご協力が望まれます。繰り返しになりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。(これまで、予防接種をされたことのない科の先生方も、安心して出務していただくために、問題が起こった場合は責任者がすぐに対応する準備があります。接種のための予診は問診のみで、本人の意思確認をしていただくだけです。ややこしい質問をされる人がいた場合は責任者が対応します。)

富田林医師会学術講演会 WEB講演会

日 時 2021年6月24日(木) 14:00~15:00

【特別講演】

座 長 やまもと整形外科医院 山本 善哉 先生
「日常診療で遭遇する

慢性疼痛の管理について」

演 者 近畿大学医学部 麻酔科学講座

講師 岩元 辰篤 先生

慢性疼痛とは、急性疾患の経過あるいは創傷治療に要する妥当時間を超えて持続する痛みと定義されており、臨床的には、痛みの持続期間が3~6ヵ月以上とされています。

平成19年の国民生活基礎調査では、受診頻度の高い上位5疾患に腰痛症、肩こりが含まれ、慢性疼痛の有病率は全成人の22.5%、推定患者数は2,315万人と報告されています。また、慢性疼痛は、生活の質を低下させ、就労困難を招くなど、社会的損失も大きいとされています。

慢性疼痛を来す疾患としては、筋骨格系疾患から、術後痛やがん性疼痛、頭痛や三叉神経痛、神経障害性疼痛、線維筋痛症や複合性局所疼痛症候群(CRPS)など多種多様です。

今回は、そのなかで日常的に遭遇しやすいものとして、頭痛、整形疾患と帯状疱疹や糖尿病に関する神経障害性疼痛、初期治療を間違えると悪化するCRPSを中心にペインクリニック的治療も含め紹介させていただきます。

※本会は、大阪府医師会生涯教育制度「1.0単位」取得カリキュラムコード「30・頭痛」「73・慢性疾患、複合疾患の管理」を申請中です。

※講演時間全体を通じてご視聴ください。視聴ログが確認できない場合、単位取得できませんのでご注意ください。

専門医より一言



「慢性腎臓病患者に対する

高尿酸血症治療の意義」

富田林病院腎臓内科 太田 一成 先生

慢性腎臓病の原疾患は、慢性腎炎や免疫疾患、代謝疾患など多岐にわたる。慢性腎炎による透析導入患者数は減少しているが、糖尿病性腎症や腎硬化症など生活習慣病が関与する疾患による透析導入患者数は増加している。糖尿病、高血圧、高脂血症に加えて、高尿酸血症が慢性腎臓病の発症や進展に影響を与える可能性が示されてきた。

慢性腎臓病と高尿酸血症の因果関係について研究が進められている。腎機能障害により尿酸排泄が低下して、高尿酸血症を呈する。一方で高尿酸血症によりレニンやCOX2、NADPHが活性化され、内皮細胞障害や糸球体血管障害が生じる。全身の高血圧、腎臓の線維化や炎症が進行して腎障害が引き起こされると考えられている。

高尿酸血症の治療が慢性腎臓病の進展を抑制するという研究結果が発表された。高尿酸血症を有する患者は慢性腎臓病を有している比率が高い。尿酸値が高値であれば腎機能が低下するという報告もある。これらの研究結果は、高尿酸血症が慢性腎臓病の原因となることを示唆する。

インスリン抵抗性により高尿酸血症が引き起こされる。高尿酸血症の患者は、インスリン抵抗性・メタボリックシンドロームに至る割合が高いとされる。高尿酸血症は全身の代謝疾患と相互作用して、腎臓をはじめとした臓器障害に深く関与する。

以上より、慢性腎臓病における尿酸の重要性が明らかになりつつある。近年、慢性腎臓病の進展を抑制するために高尿酸血症の治療を行うことが提案された。尿酸降下薬による慢性腎臓病の治療効果について更なる知見が求められる。

2021年度 会員健診申し込みについて

富田林病院 9/9(木)、9/15(水)、9/16(木)

いずれも午後1時半～ 各日13名

PL病院 9/24(金)、9/29(水) 午後1時半～

各日6名(うち女性は5名まで)

当会ホームページでもお知らせしておりますが6月15日から医師とその家族の方、6月29日からは従業員の方の健診の受付を開始しております。

医師を優先とさせていただきますので、あとから医師が申し込まれて定員オーバーの場合は従業員の方に日にちの移動をお願いすることがありますのでご了承ください。

富田林医師会事務局

調整日

5月分
6月8日(火)
PM3:00まで

6月分
7月8日(木)
PM3:00まで

6月の予定

- 1日(火)・休日診療委員会
- 8日(火)・調整日
- 11日(金)・理事会
- 21日(月)・訪問看護ステーション運営委員会
- 22日(火)・広報調査委員会
- 24日(木)・学術講演会(ZOOM)
- 25日(金)・広報調査委員会(校正)
- 29日(火)・休日診療委員会

5月行事・会合

- 6日(木)・休日診療委員会
- 7日(金)・調整日
- 17日(月)・訪問看護ステーション運営委員会
- 20日(木)・学術講演会(WEB講演会)
- 21日(金)・理事会
- 25日(火)・広報調査委員会
- 26日(水)・総会(書面)
- 28日(金)・広報調査委員会(校正)

○会員数(6月1日現在) 179名

A会員 94名 B会員 85名

○入会 なし

○退会 5月31日

大西 卓也 A2B(富田林病院)

○異動 なし

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治	天城 完二	今城 幸裕
	植村 匡志	江村 俊也	奥野 敦史
	尾多賀雅哉	遠山 佳樹	中村 元
	藤岡 洋	山本 善哉	山本 秀文